

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

ささえあい

執筆 編集 発行
碧南市特別支援教育推進活動委員会
啓発活動部

第66号



碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただくよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の交流活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。

楽しかった居住地交流会

日進小学校

年に一度、会うことができるので「まるで七夕の織姫と彦星みたいだね。」と児童が楽しみにしている居住地交流会が7月に行われました。居住地交流会は、校区内に住む特別支援学校に通う児童と楽しく交流する会です。交流会は児童が企画し、児童の司会進行で行われました。なかでも盛り上がったのは、キャップカーリングです。氷上のカーリングをまねて、瓶のキャップで的を狙います。チーム対抗戦で点数を競い合いながら互いの選手を応援し、一喜一憂しながらゲームを進めることができました。今年もみんなで再会でき、成長を喜び合うことができる楽しい交流会となりました。

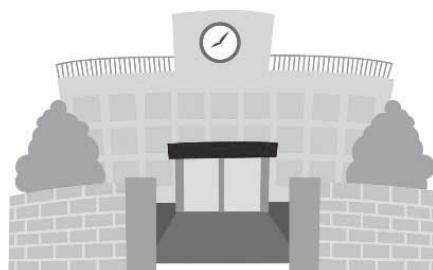


中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		30年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
特別支援学校	安城特別支援学校	2	7	3	5	3	3	5	9
	大府もちのき特別支援学校 桃花校舎	1	2	2	2			1	
	豊田高等特別支援学校		1	2	1	3	4	4	2
	ひいらぎ特別支援学校			1					
	職業訓練校				2	1			1
	公立高校		1		1				
	専修学校	3	1	2	3				1
	各種学校	3					1	1	1
	家事従事	1			2		1	1	

平成30年度、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒10名の進路は上の表のとおりです。最近、専修学校への進学も増えてきています。特別支援学級生徒の受け入れ体制がある通信制高校もあります。情報系や福祉系の専門学校、調理師の専門学校などの進路もあります。お子さんの将来や可能性に目を向け、ふさわしい進路を見つけていくことが大切です。進路について考えることは、早いほどよいと言われています。小学校の段階から進路について家庭や学校で話し合いをもつことをおすすめします。



教育講演会

「障がいのある子の就労について ～学齢期に身につけておくといよい『生きる力』～」

◎講師：社会福祉法人愛光園 就職トレーニングセンター
センター長 辻 孝志 先生
◎日時：令和元年7月21日(日) 午後2時～午後4時半
◎場所：碧南市文化会館



碧南市特別支援教育推進活動委員会では、毎年、市内の小中学校の保護者・教員・学校関係者の方々に特別支援教育の理解を深めていただくために、講演会を行っています。

今年度は、80名ほどの参加者があり、辻先生から障がいのある子の就労についてご講演いただきました。

将来社会に出て働くために、生活のリズムを整え、健康管理を行うこと、あいさつや返事をきちんと行うこと、身だしなみや食事・トイレのマナーを身につけること、ストレスへの対処や自分で判断・選択する力、SOSを伝える力、人とコミュニケーションをとることなど、学齢期に身につけておくといよい力を教えていただきました。

学校や家庭で日々行っていることも、実は、社会に出て働くために必要な能力を高めることにつながっているの、学齢期から意識していくことが大切だと分かりました。

また、就職トレーニングセンターで行われている就労に向けてのトレーニングや企業見学・実習、社会貢献活動などの支援内容についてもお話いただき、大変勉強になりました。

乳幼児期に規則正しい生活リズムを身につけましょう

～乳幼児健診に従事して～

1歳6か月児健診、3歳児健診では、子どもの就寝時間やテレビなどの視聴時間、毎日朝食を食べているかなど、生活について聞き取りをしています。親も子どもも、朝ごはんをほとんど食べていない家庭、子どもが起きるまで寝かせているため、起きる時間が遅く、そのために、食事時間が全体的に遅くなっている家庭、歯磨きの仕上げ磨きは、子どもが嫌がるためほとんどしない家庭など、いろいろな家庭があります。また、平成30年度の3歳児健診時では、1日のテレビやDVDなどの視聴時間が4時間以上の子どもは、全体の1割弱でした。最近では乳幼児



健診の待ち時間に、スマートフォンをずっと操作している子を見かけることが多くなってきました。子どもの健やかな成長発達を促すためには、規則正しい生活リズムや親子のふれあいなどが大切です。

乳幼児期に早寝、早起き、3食を食べるという基本の生活を身につけていきましょう。

乳幼児健康診査は、子どもの病気や障がいの早期発見・早期治療・早期療育につなげるとともに、子どもの生活習慣を振り返る機会となります。是非、健診を受診してください。

(健康課 母子保健係)

